

同時発表：農林水産省

令和8年10月8日
住宅局総務課

日米加の木造建築に関する基準や研究について意見交換しました ～2026年度 日米加建築専門家会合（BEC） / 日米加 JAS 技術委員会（JTC）を開催～

9月16日（水）～18日（金）に、2026年度 日米加建築専門家会合（BEC: Building Expert Committee Meeting）/ 日米加 JAS 技術委員会（JTC: JAS Technical Committee）※を開催しました。日本での対面開催は2015年以来です。建築基準の動向、木造建築の推進施策や技術開発・研究等について、活発な意見交換が行われました。

※1990年の日米林産物協議の合意に基づいて設立。日米加の政府や関係団体等が参加し、木質材料の利用促進や安全な建築工法の普及に向け、建築基準や技術情報等について意見交換を実施。各国持ち回りで会合とWGを隔年開催（日本での前回会合（2020年）はコロナ禍でオンライン開催）。

開催概要

（1）日 程 令和8年9月16日（水）～18日（金）

（2）会 場 三田共用会議所

（3）主な参加者 のべ約30名、オンライン傍聴のべ約40名

日 本：国土交通省、（国研）建築研究所、（一社）日本 CLT 協会、（一社）日本ツリーバイフォー建築協会、農林水産省、（国研）森林総合研究所

米 国：米国製材規格管理委員会、アメリカン・ウッド・カウンシル、パシフィック・ランバー検査機関、米国西部木材製品協会、米国針葉樹輸出協議会、アメリカ針葉樹協議会

カナダ：カナダ天然資源省、カナダ林産業審議会、ケベック木材輸出協会、カナディアン・ミル・サービス・アソシエーション、ラヴァル大学、FORAC 研究コンソーシアム、FP イノベーションズ、在日カナダ大使館

（4）主な内容

日本からは、住宅・建築物における木材利用、木造オフサイトコンストラクション促進に向けた取組、建築物ライフサイクルカーボン評価に係る政策、木材利用の促進のための建築基準の合理化、林産物 JAS の改正状況等の説明を行いました。

米国からは、米国におけるマスティンバーの採用、オフサイト工法の業界や社会の課題への対応、米国産木材の地域別 LCA 等の説明が行われました。

カナダからは、カナダ政府の木造建築の推進施策、プレハブ木造建築ハンドブック、木材製品の炭素量の定量化の取組等の説明が行われました。

18日（金）には、都内の中大規模木造建築物の現地視察を行いました。

【BEC / JTC の様子】



会合の様子



発表の様子



高層木造の集合住宅の視察



竣工時に国内で最大規模の木造となる
事務所ビルの建設現場の視察

＜問合せ先＞

住宅局総務課国際室 菅原、甲斐

電話 代表：03-5253-8111（内線 39-172、39-176）、直通：03-5253-8501